



木の实谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第5号」
令和4年8月19日発行
「誉れ・希望・誇り」

「平和の大切さ、命の尊さ」について

校長 水科 貴之

7月23日（土）から始まった34日間の夏休みも残りわずかとなりました。コロナ禍の中での3回目の夏休みでしたが、全国的にも県内・市内においても再び感染者数が急増し、まだまだ予断を許さない状況が続いております。そのような中でも、生徒は感染対策と暑さ対策に万全を期し、工夫しながら部活動や体育祭の準備活動に取り組んでいました。

また、保護者の皆様におかれましては、1学期末に実施した学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。今年度は新たな試みとして、アンケートの実施方法をスマホ等の端末を活用した形式に変更してみました。そのような状況の中、全ての保護者の皆様から回答をいただくことができました。結果や考察等につきましては、9月の学校だより等でお伝えしたいと考えております。

さて、夏休み中に行われた事業を一つ紹介します。それは、上越市が非核平和友好都市宣言推進事業の一環として行っている「広島平和記念式典への中学生の派遣」事業であります。上越市は、平成7年に非核平和友好都市を宣言し、恒久平和に向けて、たゆみない努力を続けることを誓いました。毎年、市内の代表中学生を広島市に派遣し、8月6日に行われる広島平和記念式典への参加をはじめ、戦争に関する施設等の見学を通して、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを知るとともに、平和の大切さや命の尊さにつても学ぶことを目的に実施されています。

今年度は、吉川中学校から3年生のK・Iさんが参加してきました。（8月7日の新潟日報に献花をしている写真が掲載されました）26日（金）の始業式の後、平和記念式典への参加や平和記念資料館、原爆ドーム等の見学を通して、「世界が平和になるために自分にできることは何か」について、自分事として考えることができた貴重な3日間だったという内容の活動報告をしてくれました。今なお世界では、戦争が行われている国もあり、尊い命が失われています。報道等でその光景を目にするたびに心が痛みます。ぜひ8月は、一人一人が平和の大切さや命の尊さについて考えてみてほしいと願っています。

右の写真は、毎年8月1日の22時30分に、長岡市で打ち上げられる花火「白菊」の様子です。22時30分という時刻は、今から77年前の1945年8月1日、空襲が始まった時間です。今年の白菊も花火の輝きとともに、空間を伝わってきた花火の大きな音が心に響きました。私は毎年この白菊を観るたびに、平和の大切さや命の尊さに対する強い思いを新たにしています。



改めて生徒には、自分の命も他人の命も大切に、毎日の幸せな生活が決して当たり前ではないことを再確認し、感謝の気持ちを持って生活してほしいと願っています。2学期もできる限り「子どもたちの学びを止めない」ことを前提としています。その上で、できることとできないことを見極め、どうすればいいのかを生徒と共に考え、工夫しながら教育活動の充実に努めてまいります。2学期も学校の教育活動に対してご理解とご協力をお願いいたします。

毎日多数の保護者・地域の皆様から当校のHPを閲覧していただきありがとうございます。

2学期も生徒の活動の様子や学校の様子等をタイムリーにお知らせしていく予定です。ぜひ、ご覧ください。

<7月12日 血液検査事後指導>



吉川中では2年生が毎年、血液検査を行っています。生活習慣病というと大人になるものというイメージがありますが、中学生にも高血圧や高脂血症、高コレステロールが見つかることがあります。

この日は、小黒保健師様、加藤食生活推進委員様を講師に、普段の食生活を見直し、何をどのくらい食べたらよいのか実物を示していただき、バランスのよい食事について学びました。食事だけでなく、適度な運動、そして規則正しい生活習慣が健康な体づくりに欠かせないことを教えていただきました。自分の健康は自分でつくるという意識をもって、生活していけるようになりたいですね。

<7月15日 体育祭結団式>



「紅 軍」



「青 軍」

今年度の紅軍のテーマは「炎舞（えんぶ）」、青軍は「蒼月（そうげつ）」に決まりました。15日は、軍メンバーと担当職員が集まり、体育祭に向けての結団式がありました。団長の決意に続いて、応援リーダー、パネル担当、そして職員の体育祭にかける思いを熱く語り合いました。これを機にいよいよ体育祭の活動が開始されます。暑い夏ですが、パワー全開で活動に取り組みしましょう。



<8月6日 やったれ祭り>



「火入れ準備」



「奉納の儀式」



「百花繚乱よしかわ ヨサコイソーラン」

「夕闇に浮かぶ稲穂竿灯」

第24回越後よしかわ やったれ祭りが8月6日に行われました。今年度は、御輿やステージイベントは中止となりましたが、稲穂竿灯の点灯や奉納の儀式に中学生が参加しました。

稲穂竿灯は風が吹くと火が消えてしまうため、何度も何度も着け直しました。奉納の儀式は、K・Nさん、M・Rさんがアナウンスを担当し、T・Tさんの拍子木にあわせて、厳かに奉納米が会場に運ばれていきました。コロナ感染症対策を行い、出店や民謡流し、各ダンスパフォーマンスが行われ賑やかさを取り戻しつつあります。中学生の力が地域を活性化し、地域の皆さんを笑顔にする大きな力となることを実感することができました。地域のためにこれからも力を尽くしていきます。

<7月19日 2年租税教室>



2年生の社会科で、「租税教室」を行いました。講師は税理士の峰村和義様です。

初めに税金について、税の種類や税の役割の説明がありました。身近な所にあるものが税によってつくられていることを知り、私たちの暮らしが支えられていることを実感しました。

この後、税の標語や税の作文への応募を通じて、税金に対する考えを発表していきます。

<7月20日部落問題学習、同和教育授業改善支援訪問>



3年生が結婚差別をテーマに部落差別問題を考える授業を行いました。指導者として、渡辺千一指導主事様からおいでいただき授業の取組や差別問題に対する教師の姿勢についてご指導を受けることができました。

結婚差別は、部落差別がもたらす偏見や差別によって、家族の絆をバラバラにしてしまいます。いわれのない偏見や差別を見直し、家族の絆を深め、豊かな人生を歩むためにどうしたらよいかを考えました。

今回は、資料「生きるⅣ」から「峠」を題材として、5人の登場人物の会話を生徒が演じ、「それぞれの人物の考えや気持ちを自分事として考える」ことに着目させたり、「父親を説得して差別を解消していくにはどうしたらよいか」という視点をもたせたりする試みを行いました。

*上越地区大会延期のため、7月に変更して実施しました。



9月		【第3期 協力・創造期】 ・ 集団の一員として自己の役割を果たそう。 ・ 仲間と協力して感動ある行事を創造しよう。 ・ 互いに認め合い、感謝の気持ちをもとう。
1日	木	テスト前部活動停止 放課後学習 メディアセーブウイーク②(～7日)
2日	金	放課後学習 (6日まで)
7日	水	定期テスト2 (～8日)
8日	木	新人陸上・各種大会壮行式
9日	金	新人陸上大会
10日	土	P.T.A親子草刈り作業
16日	金	体育祭予行
17日	土	体育祭
18日	日	体育祭予備日
20日	火	振替休業日
21日	水	専門委員会 合同駅伝大会
27日	火	3年平和の担い手養成講座
29日	木	新人各種大会
30日	金	科学研究発表会 英語検定②

